

2022年5月12日

イオンモール カンボジア
イオンモール カンボジア ロジプラス

イオンモール カンボジア ロジプラス 「シアヌークビル物流センター」着工について

イオンモール カンボジア ロジプラス（以下、当社）は、新たに取り組む物流事業の拠点として「シアヌークビル物流センター」（以下、当物流センター）の起工式を行い、2023年度の稼働に向け建設に着手します。

1. カンボジア初の制度面での取り組み

当物流センターは、カンボジア王国（以下、同国）政府が日本政府、JICAの技術協力のもと推進する自由貿易港構想の実現に向け、本年1月に許認可を取得、実証事業をおこなう拠点として、非居住者在庫※1による国際VMI※2サービスなどを提供、各企業の物流課題を解決します。さらにこれらの取り組みを通して、お客さまの利便性向上と当社を含む多種多様な事業者への事業機会やサービスを提供、同国の更なる発展に貢献してまいります。

※海外で現地法人を設立することなく自社名義の在庫を持つこと

※バイヤー側の在庫情報や出荷情報をベンダー側と共有することで、ベンダー側が在庫管理する方式

2. 経済成長目覚ましい同国の物流拠点として発展の見込める立地

当物流センターは同国最大貨物取引量を有するシアヌークビル港（以下、同港）に隣接する経済特区内に位置、同港で建設予定のコンテナターミナル（第1期2025年完成予定）への好アクセスが望める区画に竣工予定です。

同港は、国内唯一の「深海港」であり、昨今の貨物量の増加に加え、隣国ミャンマーの政情不安による各企業の「新たな進出先」として有力視されるなど、「新たなアセアンハブの可能性」として注目されています。さらに首都プノンペンと同エリアを結ぶ高速道路が本年7月に開業予定で、開通後の車での所要時間は現状の約6時間から約2.5時間に短縮される見込みで、加速度的に成長する同国における重要な物流拠点となることが期待されるエリアです。

3. 環境負荷に配慮した設備づくり

太陽光発電、壁面緑化、LED照明設備の設置。これまでのモール事業を通して培ったノウハウを活用し、環境負荷の低い物流センターを建設します。

□物流センター概要

所在地：カンボジア王国シアヌーク州シアヌークビル港経済特区内

敷地面積：約30,000m²

建築面積：約20,000m²

開業予定日：第1期全天候型倉庫：2023年2月 / 第2期フル拡張型倉庫：2023年6月



＜お問い合わせ＞イオンモール株式会社 社長室 広報グループ TEL 043-212-6733